

平和祈念事業アドバイザーボード（第5回）議事要旨

1 日 時：平成23年6月23日（木）14：00～15：30

2 場 所：三番町共用会議所

3 出席者：（委員）

- ◎ 亀井 昭宏（早稲田大学商学学術院教授）
- 杉浦 力（財団法人能率増進研究開発センター理事長）
- 田久保忠衛（杏林大学名誉教授）
- 堀川 末子（弁護士）
- 水嶋 永治（常磐大学大学院教授）

[敬称略、◎は座長、○は座長代理]

（総務省）

北原 久 特別基金事業推進室長

4 議事次第

- （1）「平成22年度平和祈念事業実施結果報告」についての説明
- （2）「平成23年度平和祈念事業委託業務のポイント」についての説明
- （3）「平成23年度平和祈念事業実施計画」についての説明
- （4）意見交換等

5 議事要旨

- （1）「平成22年度平和祈念事業実施結果報告」についての説明
資料2に基づき、22年度事業者から22年度事業実施結果について説明が行われた。
- （2）「平成23年度平和祈念事業委託業務のポイント」についての説明
資料3に基づき、事務局から「平成23年度平和祈念事業委託業務のポイント」について説明が行われた。
- （3）「平成23年度平和祈念事業実施計画」についての説明
資料4に基づき、23年度事業者から23年度事業実施計画について説明後、意見交換が行われた。
委員の主な発言等は以下のとおり。

- 昨年度の平和祈念フォーラム in 東京、横浜はどのようなところに告知、案内を行ったのか。フォーラムのプログラムは戦争体験者を起用したのか、若い人を起用したのか、それによってターゲットも変わるのではないか。
- 沖縄県で地方展示会を開催したことはよかった。また、朗読会の作品を「平和の礎」から選んだことは大変結構である。
- 館内企画展などの情報はデジタル化して蓄積をするとよい。また、インターネットを活用して情報提供を行ってほしい。
- 高校生の来館者が多いようなので副教材として使えるものがあればよい。
- 外国の平和博物館や戦争資料館を視野に入れて事業の長期展望を考えると、違うやり方が見えてくるのではないか。
- 地方展示会の会場については、あまり開催されることがない都市や、昨年度フォーラムを行った氷川丸のように珍しい場所などを開拓するとよい。
- 感想ノートなどを設置し、書いてもらおうといったものがあれば、来館者の関心等が把握できるのではないか。

(4) その他

今後の予定について、事務局から説明が行われた。

〔 本議事要旨は、総務省大臣官房総務課特別基金事業推進室において作成した速報版であり、今後、修正する場合がある。 〕